

様式 2

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	232・廣あかつき	第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	道徳 140、道徳 141 道徳 240、道徳 241 道徳 340、道徳 341 道徳 440、道徳 441 道徳 540、道徳 541 道徳 640、道徳 641	みんなでかんがえ、はなしあう しょうがくせいのだうとく1、だうとくノート1 みんなで考え、話し合う 小学生のだうとく2、だうとくノート2 みんなで考え、話し合う 小学生のだうとく3、だうとくノート3 みんなで考え、話し合う 小学生のだうとく4、だうとくノート4 みんなで考え、話し合う 小学生の道徳5、道徳ノート5 みんなで考え、話し合う 小学生の道徳6、道徳ノート6
取扱内容 〔学習指導要領の総則及び目標、内容等〕	<p>○ 生命の尊厳について 第1,2学年では、動物の赤ちゃんにどのようなことを言ってあげたいか、命とはどのようなものだと思うかを考える活動等、第3,4学年では、家の人たちはどのような思いで命を守ってくれたのか、自分の命が大切なのはなぜだと思うかを考える活動等、第5,6学年では、なぜ命はかけがえのないものなのか、命のつながりについてどのようなことを思うかを話し合う活動等を取り上げ、児童が主体的に道徳性を養うことができるようになっている。</p> <p>○ 自然について 第1,2学年では、生き物の世話をしたときどのような気持ちで世話をしたか、動物の命を大切にするためにどのようにしたらよいかを考える活動等、第3,4学年では、自然の生き物にとっての幸せとはどのようなことか、自然環境を守るために自分にはどのようなことかできるかを考える活動等、第5,6学年では、どうして自然を大切にしなければならないのか、環境問題の解決に向けて身近なところでは何かを話し合う活動等を取り上げ、児童が主体的に道徳性を養うことができるようになっている。</p> <p>○ 伝統と文化について 第1,2学年では、自分の生まれ育った町の好きな場所はどこでなぜ好きなのか、町にはどのような祭りがあるかを考える活動等、第3,4学年では、自分の生まれ育った郷土で大切に受け継がれてきたものは何か、郷土や日本の自慢できるすてきなところは何かを考える活動等、第5,6学年では、伝統や文化を受け継ぎ発展させていくことはなぜ大切なのか、伝統や文化を守っていくことにはどのような意味があるのかを話し合う活動等を取り上げ、児童が主体的に道徳性を養うことができるようになっている。</p> <p>○ 情報化への対応について 第1,2学年では、よくないことをしてしまったことはどのようなことがあるか、間違ったことが広まるとどのようになるかを考える活動等、第3,4学年では、正しいと思うことを自信をもって行うためにはどのような心が必要か、インターネットでどのようなことに気を付けなければならないかを考える活動等、第5,6学年では、情報を得たり発信したりするときに心がけなければならないことは何か、スマートフォンで節度を守り節制を心がけることの大切さを話し合う活動等を取り上げ、児童が主体的に道徳性を養うことができるようになっている。</p>			
内容の構成・排列、分量等	<p>○ 内容の構成・排列 言語活動については、見通しをもって自ら課題意識や問題追求への意欲を高める「考えよう 話し合おう」や別冊に感じたことや考えたことを記入する欄を配置し、問題解決的な学習については、見通しをもって問題追求への意欲を高める「学習の道すじ」を配置し、体験的な学習については、道徳的諸価値への思考を深める「活動しよう」を配置するなど、児童が多面的・多角的に思考できるよう工夫されている。</p> <p>○ 内容の分量※ 第1学年～Aは11教材、Bは8教材、Cは10教材、Dは5教材、Eは2教材、全体で36教材であり、総ページ数は別冊を含め164ページとなっている。 第2学年～Aは11教材、Bは8教材、Cは11教材、Dは5教材、Eは2教材、全体で37教材であり、総ページ数は別冊を含め164ページとなっている。 第3学年～Aは10教材、Bは9教材、Cは11教材、Dは5教材、Eは4教材、全体で39教材であり、総ページ数は別冊を含め176ページとなっている。 第4学年～Aは10教材、Bは9教材、Cは11教材、Dは5教材、Eは4教材、全体で39教材であり、総ページ数は別冊を含め188ページとなっている。 第5学年～Aは11教材、Bは8教材、Cは10教材、Dは7教材、Eは3教材、全体で39教材であり、総ページ数は別冊も含め220ページとなっている。 第6学年～Aは11教材、Bは8教材、Cは10教材、Dは7教材、Eは3教材、全体で39教材であり、総ページ数は別冊も含め228ページとなっている。</p>			
使用上の配慮等	<p>○ 各学年に、別冊において心に残った教材やその理由を記入する「心に残っている授業の記録」を配置し、自らの道徳的な成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、児童が自らを振り返るための工夫がなされている。</p> <p>○ 各学年に、別冊において家の人に見てもらったことを記録するチェック欄を設けた「心のしおり」を配置し、家庭や地域との連携を深めるための工夫がなされている。</p> <p>○ 道徳の学習の進め方を示すページを設けたり、全ての児童が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインなどを採用したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
その他	<p>○ 北海道と関連のある教材は、「新渡戸稲造」など3箇所取り上げられている。</p> <p>○ いじめ問題については、いじめをなくすために、できることやしなければならぬことはどのようなことかを話し合う活動等を取り上げている。</p>			

※ 「内容の構成・排列、分量等」の「内容の分量」のAは「主として自分自身に関すること」、Bは「主として人との関わりに関すること」、Cは「主として集団や社会との関わりに関すること」、Dは「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」、Eは「複数の内容項目が含まれている教材」を表す。